

# 第59期（2025年度）第5回理事会議事録

## 日時

2026年1月18日（日）9:30～

## 場所

長田生涯学習センター

## 出席者

（天城やまの会）野口潤資、（沼津労山）大村忠義、（三島労山）高良周作、（清水労山）竹本幸造、（静岡労山）砂子とみ江・杉山明彦、（焼津山の会）山崎勝治、  
（山登歩）橋本博之、（NMC）森英代、（浜松労山）小栗正人、（フレンズ）小平悟一

## 欠席者

（あさぎり）富永政則、（安部っ子）村山俊一

## 議題（午前）

### （1）県連、各ブロック、専門部から活動報告及び行事計画について

#### ① 県連活動報告

1 . 県 連 交 流 ハ イ ク  
実 施 日 : 2026 年 1 月 10 日 ( 日 )

参加状況：

山岳団体	予定参加人数	当日参加人数	備考
天城やまの会	5	5	
三島勤労者山岳会	1	1	
沼津勤労者山岳会	2	3	
長泉麗峰山の会	2	2	※遅れて山頂合流できず
あさぎり山の会	10	10	
清水勤労者山岳会	4	4	
静岡勤労者山岳会	14	12	(予定 14 名から変更)
静岡安部っ子山の会	3	3	
焼津山の会	6	5	(3→5 名に変更)
山登歩勤労者山の会	9	9	
NMC	2	1	

山岳団体	予定参加人数	当日参加人数	備考
浜松勤労者山岳会	5	5	
浜松山の会フレンズ	2	2	
合計	65	62	

② 各ブロックより

---

- 東部ブロック：
  - 県連交流ハイクの準備・実施。
  - あまぎ山の会を中心に、玄岳登山道整備を毎月実施中。
  - 資金調達活動として、障碍者施設で作ったクッキー等を 150 円で仕入れ、200 円で販売している。
- 中部ブロック：
  - 雪山計画：2 月 11 日 雪上ハイク（入笠山）。
- 西部ブロック：
  - 特になし。

③ 各専門部より（総会以外）

---

- 財政部：
  - 本年度経費について、本日資料に追加される分に関する報告は 1/31 までに財政部に連絡すること。
  - 各ブロックの精算は、総会議案書の総括に間に合うように提出すること。

- 教育遭対部：
  - 冬山実績：浜松、静岡は後程担当に連絡。三島は全て実施。安部っ子は別途確認。れいほうは1日遅れで実施。
- 自然保護部：
  - 自然保護デーの報告。
- 組織部：
  - 次期理事推薦：各会の代表から選出。2月15日までに県連マーリングリストにて報告のこと。

## (2) 全国連盟関連

- 栄誉功労賞・永年会員申請：静岡労山・森下さんを申請済み。
- 第37回全国総会：
  - 日程：2月14日、15日
  - 代議員：高良理事長が出席（参加費は県連負担）。
- 全国連盟費の減額について：
  - 2026年度（令和8年）より、現行130円から100円に減額予定（特別基金からの繰り入れによる）。
  - これに伴う県連費用の調整（下げるか維持するか）は総会にて提案・検討事項とする。

— 昼食（12:00～13:00） —

## 議題（午後）

### (3) 総会に向けて（59期総括・60期案）

各部方針・総括の修正

- 遭対部長：
  - 総括：本日の確認による増減あり、修正版を提出。
  - 方針案：「安全登山講習会」に「60周年記念講演」と合わせる旨を追記する。
- 自然保護部長：
  - 総括：自然保護デーの参加を「県内7団体69名」に変更。
  - 方針案：県内外の山岳団体に加え「自然保護団体」を追記。「リニア新幹線建設」を「リニア新幹線建設“計画”」に変更。
- 組織部長：
  - 山登歩は労山加盟者のみ登録で6名となった。
  - 方針案：「300名会員を回復する」を追加。
- 中部ブロック：
  - 60期方針案4章：浜岡原発の再稼働に関し、「中部電力の地震に対して偽装をしてまでの過小評価により安全が揺らいでいる」という一文を追加。

(C) コメント 山崎理事 南アルプス写真展について、各会に対してどのような活動をしているのか知りたい。

(C) コメント 山崎理事 カンパの箱を置いてはどうか。 (→会場でのカンパは禁止されているとの回答あり)

(C) コメント 山崎理事 来場できなかった人のために写真集を作ってはどうか。ただし赤字になるなら仕方ないが。

## 財政関連（重要議案）

### 1. 遭難対策費積立金（1,204,311円）の扱いについて

ベルグバハト隊がなくなり利用の目途がないため、一般会計への組み込みを総会に提案する。

(C) コメント 山崎理事 提案として、①何か起きた時のために会計口座に一部を繰り入れる、または②全額一般会計に移すのであれば、現在の積立基金口座を「雪崩講習会」用の口座として利用してはどうか。

→ どちらかの案を提案し、代議員を含めて採決をとる。 (総会議案第1号)

(Q) 質問 この積立金は県連のお金を積み立てたものか？

(A) 回答 はい。今後増える予定はない資金です。

## 2. 全国連盟費・県連費の改定について (総会議案第2号)

- 全国連盟費：130円 → 100円 (▲30円)
- 提案：県連費を 80円 → 100円 (+20円) へ増額する。
- 結果：会員負担総額は 210円 → 200円 (▲10円) となる。
- 県連収支：年間約36,000円のプラスとなる見込み。

※昨今の物価高による県連会計の赤字を補填するため、全国連盟費減額分の一部を県連費へ移行することを提案する。

## 3. 雪崩講習会補助金繰越 (219,400円) の修正

これまで別項目だが一般会計口座に入っていたため、一般繰越金と重複して計算されていたミスが判明。今年度実績で減額修正を行った。

## 4. 支出対策・予算削減

雪崩講習会補助金の重複計算修正により、実は年間10万円の赤字体質であることが判明したため、以下の支出見直しを行う。

- 南アルプス山岳4団体写真展：現状、労山出展写真の印刷費用（約35,000円）を個人が採算度外視で負担してくれている。これを削ると出展継続が困難になるため、ここは必要経費として維持する。
- 予算削減内訳（計73,000円削減）：

- 教育遭対費：▲5,000 円
- 自然保護費：▲9,000 円（予算 1,000 円へ）
- 組織費：▲9,000 円（予算 1,000 円へ）
- 事務局費：▲10,000 円（予算 10,000 円へ）
- 理事会交通費：▲10,000 円（予算 90,000 円へ）
- 全国連盟活動費：▲10,000 円（予算 10,000 円へ）
- ブロック活動費：▲10,000 円（各 20,000 円×2 へ）
- クライミング講習会：▲10,000 円（予算 0 円へ）

#### (4) 県連 60 周年記念行事について

※詳細は別資料参照

- 講演会参加費：~~1,000 円で決定（理事会決定）~~。大城さんではなく小宮山さんになったため 500 円に変更
- 安全登山講習会補助：会員数が 300 名を切ったため、10 万円とする。
- 記念山行：各会で 60 周年記念山行を実施してもらう。
- 記念誌：各会の紹介文を執筆・提出してもらう。

#### (5) 連絡等

特になし